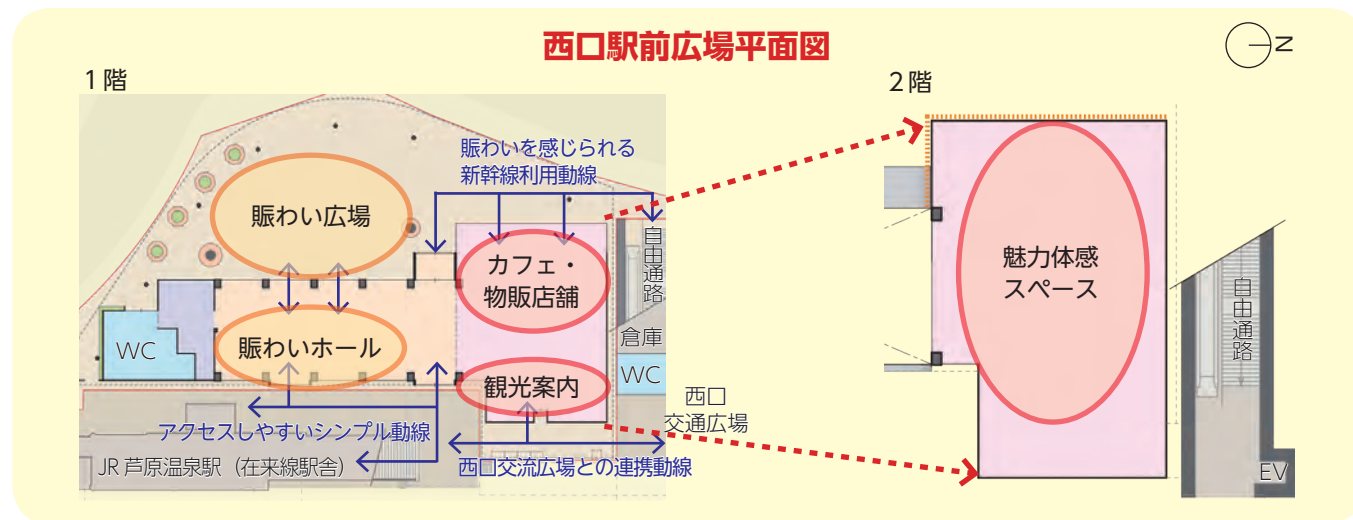




多様なイベントと多目的に活用できる空間整備

賑わいホール（屋内ホール）は、雨、風、雪といった天候に左右されることなく、太陽の光の届く利用者の憩いの空間とし、団体旅行の待合所としても利用可能な空間です。

また、広場とホールの間を可動式のガラス戸とすることで、開放時には一体的な大きなスペースとして利用することができ、文化・スポーツ団体や小中高生によるステージイベント、農業者や商業者などによるフルーツマルシェや野菜の軽トラ市、ワゴン市など多目的に活用できます。



あわらならでは和心あふれる賑わい広場

駅利用者の利便性を向上させるとともに、市民や駅利用者が集い、ともに憩えるエリアとして、駅周辺のさらなる賑わいを創出する施設を整備し、福井県の北の玄関口にふさわしい「和心あふれる賑わい広場」とします。

市指定天然記念物の「大鳥神社の大銀杏」や「沢春日神社の大杉」をモチーフとした、木のぬくもりを感じることでできる「あわらならでは」の駅前広場です。

新幹線駅舎や西口立体駐車場のデザインとの調和を図るとともに、西口駅前広場から金津本陣にぎわい広場や駅前商店街といった駅南西部に対し、大きく開かれた施設配置とすることで、まち歩きを促し、駅周辺と一体となった賑わいの創出を図ります。

日中は、樹木のような大屋根を支える柱に囲まれ、柔らかな光が差し込む森の中にいるかのような広場に、また日没後は、柱上部を「ぼんぼり」のイメージを醸し出すように、内部から間接照明などで優しく照らし出すといった、和心を感じることができ憩いの場になります。

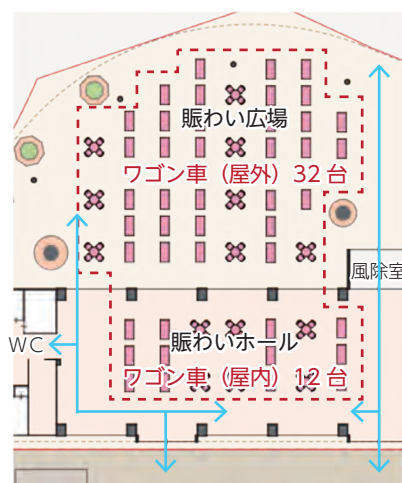
問合せ 観光振興課 ☎73-8029

多目的活用のレイアウト参考図

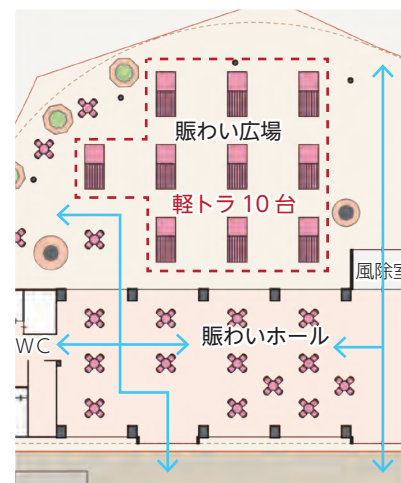
凡例 □ : イベントエリア → : 施設内利用動線



▲イベントステージ開催時



▲ワゴンセール開催時



▲軽トラ市開催時

賑わい広場と賑わいホールを幅広く一体化することで、敷地全体を多様なイベントに活用できます。

また、内部と外部が一体化することで、イベント開催時の賑わいが賑わいホールから駅周辺と発信できる、まちに開かれた施設となります。